

アジア太平洋障害者連携フォーラム2019

セッション4

「自ら仕事を創る起業というオプション」



2019.2.3

NPO法人の紹介

沿革

1998年：京都リサーチパーク（株）の事業として開始
1999年：「起業家教育センター」（旧称）設立
2003年：NPO法人認可と同時に名称改変

ミッション

自ら仕事を創造し、社会変革に積極的に取り組むアントレプレナーシップ（起業家の行動能力）溢れる人材育成とそのための社会環境づくり

活動内容

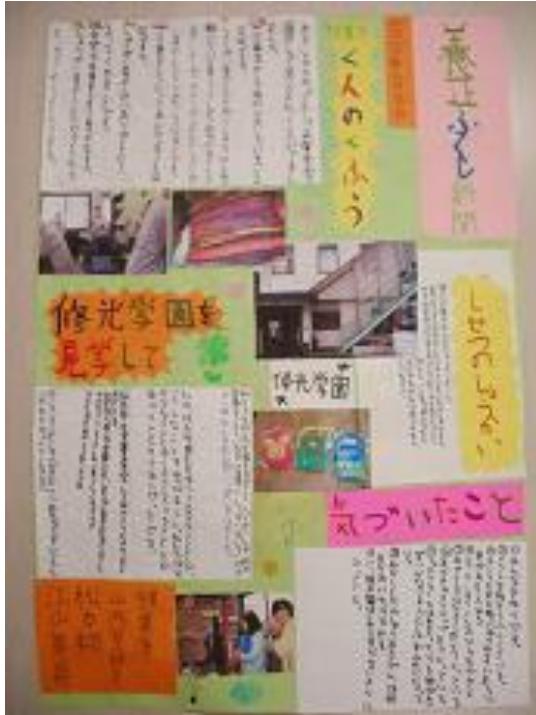
アントレプレナーシップ推進のために

- ・カリキュラム・教材・教育プログラムの開発
- ・指導者研修・授業支援
- ・普及イベントや創業塾などの講座開催
- ・社会事業の実践研修の提供
- ・起業・事業運営に関わるコンサルティング

障碍のある方と関わる仕事

福祉施設での職場体験

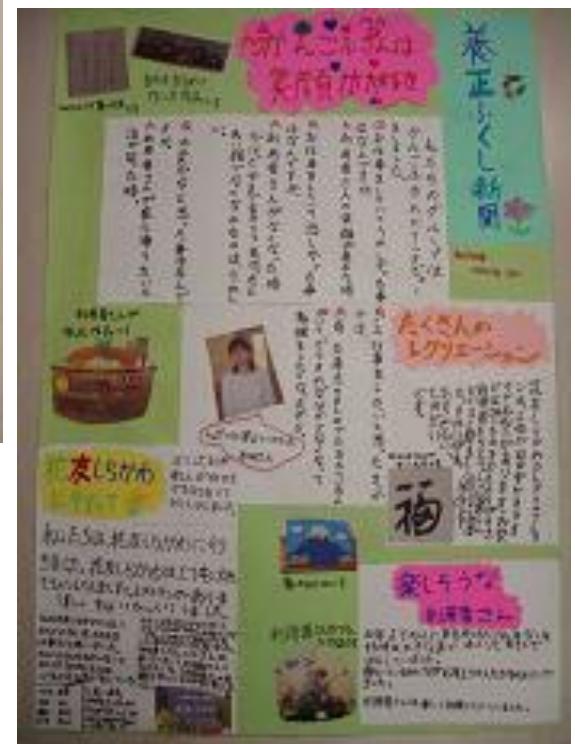
小・中学生が地域の福祉施設で働き、高齢者や障碍者について理解を深める機会を提供
将来、福祉現場で働きたいという若者を増やすことも目的の一つ



子ども達作成の
発表記事



学んだことを
発表



施設スタッフへのマネジメント研修

障碍者の就労支援施設にて、利用者の工賃向上が求められるなか、施設スタッフに今までとは異なる能力(商品開発・販路開拓等)が必要になってきたことに対応し、民間のノウハウを学ぶ研修を行ったうえで個別施設のニーズに応じた支援を行うもの



課題の洗い出しと解決策
の具体的プランニング

商品力向上と販路開拓

福祉から雇用へ

働く能力のある利用者が施設にとどまっている課題を解決するために、福祉施設で訓練事業を受ける障害者の方々の工賃向上や一般就労を応援する事業を実施



デザイン性を高めて、
授産製品の付加価値
を上げて、高く売る工
夫をする



一般就労した先輩や雇用者から話を聞いて、就職への一歩を応援する



障碍のあるなしに問わらず、
誰にも、どんな仕事をする人にも
アントレプレナーシップ
は不可欠

本日のセッション

＜ゲストスピーカー＞

- ①ナムチョック・ペットセン氏(4オールエイブル代表)
- ②尾中幸恵氏(コーヒーハウスCODA 代表)
- ③初瀬勇輔氏((株)ユニバーサルスタイル・(株)スタイル・エッジMEDICAL 代表取締役)

＜目標＞3人の方の体験を通じて

- ①起業のメリットや成功の秘訣について学び
- ②アントレプレナーシップの必要性を理解し
- ③自ら事業を起こし、経済的自立や社会参画を実現する可能性と、そのために必要な応援について考える